

公営企業の抜本的な改革の取組状況（令和6年3月31日時点）

団体名	業種名	事業名	施設名
門川町	水道事業	—	

実施状況

抜本的な改革の取組							現行の経営体制を継続
事業廃止	民営化・民間譲渡	地方独立行政法人への移行	広域化等	民間活用			
				指定管理者制度	包括的民間委託	PPP/PFI方式の活用	
							●

抜本的な改革の取組状況

現行の経営体制・手法を継続する理由、今後の方向性

抜本的な改革に取り組まず、現行の経営体制・手法を継続する理由及び現在の経営状況・経営戦略等における中長期的な将来見通しを踏まえた、今後の経営改革の方向性

小規模な事業体であり人員も少数であることから、PFI等の導入については将来的な経営の圧迫が懸念される。また広域化にあっては、料金体系の統一やシステムの統合を含めた事業運営などクリアすべき課題が多いため、今後も現行の体制を維持していく考えである。

なお、本町にあっては平成30年に「門川町水道事業アセットマネジメント」及び「門川町水道事業経営戦略」を策定し、今後の事業計画等を作成。これらを踏まえて令和元年に水道料金の改定を実施した。また、国の交付金事業等を活用して耐震管路の推進を図っており、計画的な事業運営に努めているところである。

令和5年度に見直した経営戦略を踏まえ、今後の料金改定の時期を模索し、また施設や設備の統廃合を含めた適正管理を図っていく。

公営企業の抜本的な改革の取組状況(令和6年3月31日時点)

団体名	業種名	事業名	施設名
門川町	簡易水道事業	—	

実施状況

抜本的な改革の取組						
事業廃止	民営化・民間譲渡	地方独立行政法人への移行	広域化等	民間活用		
				指定管理者制度	包括的民間委託	PPP/PFI方式の活用

現行の経営体制を継続
●

抜本的な改革の取組状況

現行の経営体制・手法を継続する理由、今後の方向性

抜本的な改革に取り組まず、現行の経営体制・手法を継続する理由及び現在の経営状況・経営戦略等における中長期的な将来見通しを踏まえた、今後の経営改革の方向性

事業の規模が小さく、人員が少ない等の理由から、抜本的な改革の検討に至らない状況である。
水道料金については、上水道と同一料金設定であり、令和元年7月の料金改定に伴い平均改定率約20%の値上げを行った。
令和2年10月に「門川町簡易水道事業経営戦略」を策定済みである。
収支不足額については一般会計からの繰り入れを受けているが、必要最低限の繰入額とし簡易水道事業の経営健全化を図っている。
令和6年4月1日から地方公営企業法の適用をしている。